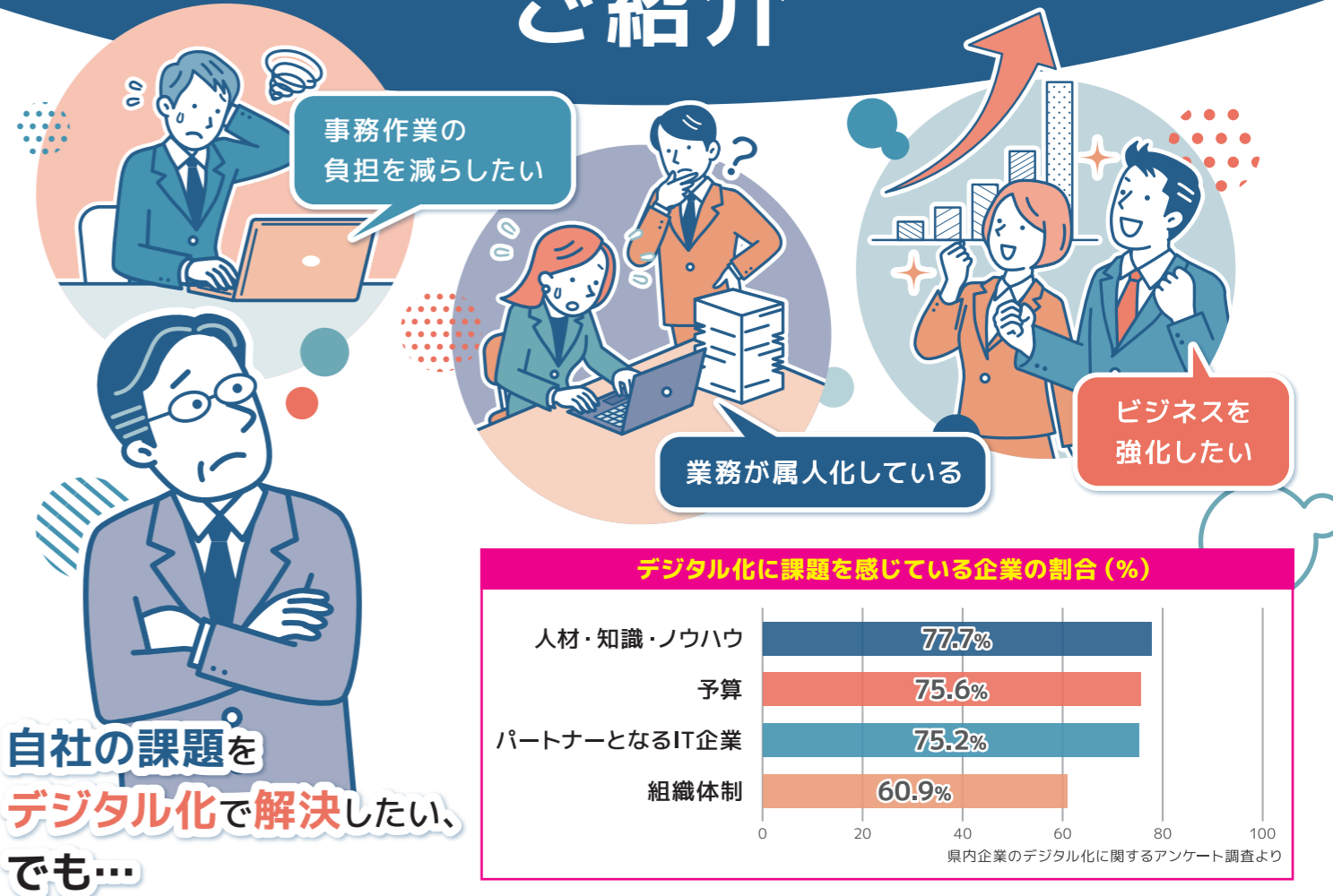


デジタル化・DX関連支援制度のご紹介



Open Innovationみやぎ

公式サイト <https://ictdb.pref.miyagi.jp/>

- 今回ご紹介した制度を含め各種情報を随時掲載予定
- キーワードや条件で県内IT企業を検索可能
- 支援施策紹介動画も掲載中

探すつながる みやぎICTポータルサイト

OPEN INNOVATION みやぎ

ミラサポPlus (中小企業庁)

公式サイト <https://mirasapo-plus.go.jp/>

各種支援情報を掲載

- 事例を検索できる「事例ナビ」
- 経営が見える化「ローカルベンチマーク」(会員限定)
- 支援機関からの補助金活用事例紹介「支援機関とともに」
- 各種経営相談窓口紹介

ミラサポplus

IT経営サポートセンター (中小機構)

公式サイト <https://it-sodan.smrj.go.jp/>

IT活用や導入について気軽に相談できる無料オンライン面談サービス

- 課題が具体化していない場合はITの専門家と話すことで問題点等を整理
- 「IT戦略ナビ」を活用し、課題を「見える化」
- 具体的なIT戦略の方針やツールについてアドバイス

IT経営サポートセンター

IT化には取り組みたいが具体的にどうしたらよいか分からない
「もやもや」型

自社のIT化に関して相談したい課題がはっきりしている
「ハッキリ」型

どちらのタイプでもご相談可能

中小企業の経営支援に取り組む金融機関や
商工会・商工会議所など、支援機関の皆様も利用可能

オーエン(仙台市産業振興事業団)

公式サイト <https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/sales/002.html>

経営課題の解決や新規事業への挑戦に向けたIT導入・利活用について、課題の整理から具体的な解決方法の模索、検討まで専門家が継続して無料サポート(対面またはオンライン)

- 新規顧客開拓のため、ホームページをリニューアルしたい
- 環境の変化に合わせて、ITを活用したビジネスモデルに転換したい
- 生産管理の方法やツールを見直し業務の効率化を図りたい

オーエン

宮城県よろず支援拠点 (宮城県商工会連合会)

公式サイト <https://yorozu-miyagi.go.jp/>

- 経営相談を無料で受付(対面またはオンライン)
- コーディネーター(専門家)が継続的にサポート
- 販売促進・WEB活用・デザイン・飲食関連・人材採用・資金繰りに強み
- 経営・ビジネスに役立つセミナーも開催

宮城県よろず支援拠点

中小企業向け情報セキュリティ対策

公式サイト <https://www.ipa.go.jp/security/sme/list.html>

中小企業の皆様が情報セキュリティ対策に取り組むために活用いただきたいガイドや手引き、施策などをご紹介します

- 中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン
- サイバーセキュリティお助け隊サービス
- セキュリティ対策自己宣言 SECURITY ACTION
- 自社診断ツール、学習教材、相談窓口 など

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

様々なお悩みに対し、各種支援をご紹介します

<h3>デジタル化に向けた相談支援 (デジタル化経費の補助を含む) P2-3</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県中小企業等デジタル化支援事業 ・デジタル化・DX支援事業 ・IT導入補助金2025 ・業務効率化サポート補助金 	<h3>デジタル化を担う社内人材の育成 P4-5</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・産業デジタル中核人材育成プログラム ・DX人材育成プログラム ・「Downstreamから学ぶDX」 ・地域高度デジタル人材育成研修 ・マナビDXクエスト
<h3>デジタル活用による事業変革など P6-7</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンズオン支援(専門家派遣) ・生産性向上ロールモデル支援事業 ・異業種連携促進事業 ・SENDAI X-TECH Innovation Project 	<h3>デジタル化に関する支援情報等 P8</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・OpenInnovationみやぎ ・ミラサポPlus ・IT経営サポートセンター ほか

「デジタル化をどのように進めたら

いいのかわからない、資金が足りない」



会社の課題整理、IT導入計画作成を専門家(経営・IT)が支援
導入経費も補助する制度があります。

※掲載している事業予定は変更となる可能性があります。R7年度の事業内容は事業HPを随時ご確認ください。

宮城県中小企業等デジタル化支援事業

宮城県 中小企業支援室
TEL: 022-211-2745



公式サイト <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/chukisi/r7digital-shien.html>

メニュー その1 デジタル化相談

プロのアドバイザーがあなたの会社を訪問して、デジタル化の説明や助言、経営課題の整理、導入したデジタルツールの活用方法についてアドバイスします

デジタル化について話を聞いてみたい

1回無料

メニュー その2 デジタル化導入支援(アドバイザー派遣+補助金)

デジタル化に取り組みたい

STEP1 アドバイザーと事業計画策定

プロのアドバイザーがあなたの会社を訪問して、具体的なデジタル化の事業計画についてアドバイスします

最大3回まで無料



STEP2 補助金を申請・活用

デジタル化にかかる費用の一部を県が補助します

補助率 **1/2 以内**

補助限度額 上限 **250万円**
下限 **50万円**

●デジタル技術による事業の共同化も支援します(公式サイトをチェック!)

デジタル化・DX支援事業

東経連ビジネスセンター
TEL: 022-397-9098



公式サイト: <https://www.tokeiren-bc.jp/menu2.html#menu2-04>

デジタル化・DXに精通した専門家が訪問し、3つのステップで伴走支援をいたします。

お申し込み

WEBサイトからお申し込みいただけます。

事前準備

相談内容等の情報をご報告いただけます。

訪問①ヒアリング

専門家が相談内容等をお伺いし、課題と目標を明確にして可視化いたします。

訪問②ディスカッション

可視化した課題と目標について、簡易的に診断した分析資料等をお渡ししディスカッションを行います。

訪問③提案・情報提供

今後のデジタル化などを踏まえ、実現可能な事業プランのご提案や情報提供をさせていただきます。

利用企業の声

DXを進める必要性は感じていましたが、どの方向に進むべきかわからずいました。今後の方向性が明確になり、着実に前へ進めていけると思います。(製造業・社長)

DXの定義や方向性が明確になり、課題と優先順位を再確認できたこと、最適な提案と分かりやすい解説をいただき、進む方向が定まりました。(卸売業・社長)

現状の整理から段階的な目標設定まで、経営側と実際の運営チームの意思を一致させることができ感謝しています。(水産加工業・専務)

IT導入補助金2025

経営課題を解決するためのITツール導入を支援します。各社の目的に合致する枠に申請が可能です。



公式サイト
<https://it-shien.smrj.go.jp/>

	対象経費	補助率	補助額
通常枠	販売・会計・人事などの業務プロセスへITを導入する際のソフトウェア購入費・クラウド利用料、導入・保守サポート等に係る費用	中小企業: 1/2以内 最低賃金近傍の事業者: 2/3以内	ITツールの業務プロセスが3つまで: 5万円~150万円 ITツールの業務プロセスが4つ以上: 補助額150万円~450万円
複数社連携IT導入枠	地域DX・生産性向上を目的に、複数の中小・小規模事業者が連携した取組を実施する際に必要なITツール・ハードウェア導入にかかる費用	(1)基盤導入経費: 1/2~3/4, 4/5以内 (2)消費動向等分析経費: 2/3以内 (3)事務費、専門家費: 2/3以内	(1)と(2)をあわせて~3,000万円 (3): ~200万円
インボイス枠 インボイス 対応類型	インボイス制度に対応した会計ソフト・受発注ソフト・決済ソフトの導入費用、PC・タブレット・レジ・券売機等の導入費用	~50万円以下: 3/4以内 (小規模事業者: 4/5以内) 50万円~350万円: 2/3以内 ハードウェア購入費: 1/2以内	ITツール1機能: ~50万円 2機能以上: ~350万円 PC・タブレット等: ~10万円 レジ・券売機等: ~20万円
インボイス枠 電子取引類型	取引関係における発注者が、インボイス制度対応の受発注ソフトを導入し、受注者である中小企業等に対して無償でアカウントを供与して利用させる場合の導入費用	中小企業等が申請: 2/3以内 大企業等が申請: 1/2以内	~350万円
セキュリティ 対策推進枠	「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」掲載サービスの利用料(最大2年分)	中小企業: 1/2以内 小規模事業者: 2/3以内	5~150万円

要件の詳細は公式HPをご確認ください。

活用事例: 建設業(電気設備・空調設備等の工事施工管理)

抱えていた経営課題	ITツールを活用し公共工事の積算精度向上	成果
公共工事の元請け受注の増加のために工事の積算精度を高めていく必要があった	ITツール導入後はスタッフの動機づけに注力 不明な点や積算のポイントはIT導入支援事業者のサポートセンターに積極的に質問し、ノウハウの習得に取り組む	入札参加件数が大幅に増加 1年で数件 → 3か月で5件 公共工事に対する社員の意識も向上

業務効率化サポート補助金

仙台市 中小企業支援課
TEL: 022-214-1003



公式サイト <https://www.city.sendai.jp/kikakushien/gyoumukourituka.html>

仙台市内の中小企業者が、生産性向上による収益拡大を支援するため、専門家によるコンサルティングと業務効率化を図る取組の経費の一部の補助金を支給します。

補助金額	対象経費(一例)
補助率 1/2 以内 補助限度額 デジタル化 50万円 業務効率化 200万円	【デジタル化】 ソフトウェア導入費、クラウドサービス導入費、ハードウェア導入費 など 【業務効率化】 手荷物作業の軽減に資する機器
申請の流れ	活用事例
<ol style="list-style-type: none"> 公益財団法人仙台市産業振興事業団に事前相談 申請書の提出 審査、結果通知 採択者向け説明会 交付決定通知 補助事業開始 専門家による伴走支援 事業完了、実績報告書の提出 補助金交付 	<ol style="list-style-type: none"> 建設業 人事労務、勤怠管理システムを導入し、紙を用いたアナログ業務をデジタル化 運送業 統一パレットを導入し、手荷物作業を軽減 小売業 POSレジを導入し、インボイス対応と管理コストを削減 教育業 自社HPの改修とコンテンツ作成により、HP滞在時間を延ばすとともにWeb申込を増加させる

「デジタル化を進める人材など社内体制を構築したい、デジタルを活用して新たな事業展開をしたい」



自社のデジタル化を担う人材の育成・社内体制の構築
また、自社ビジネスの高度化・新規ビジネスの創出に向けた人材の育成
意欲的な企業間の交流等を支援する制度があります。

産業デジタル中核人材育成プログラム

宮城県 産業デジタル推進課
TEL: 022-211-2478



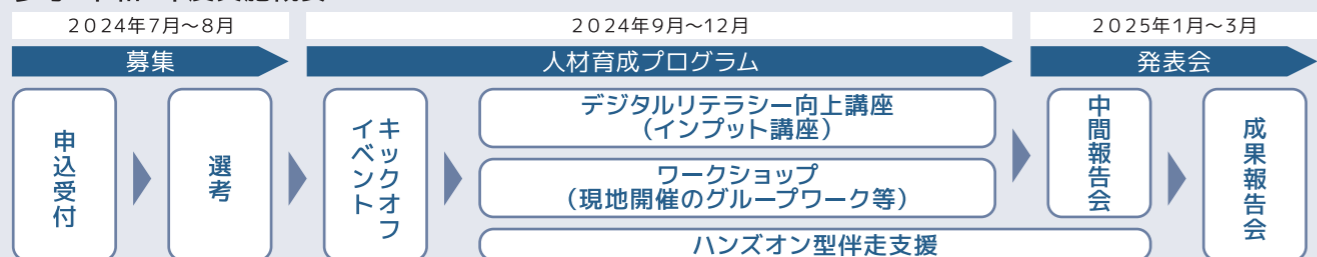
公式サイト <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sangyod/r6dxjinzaiprogram/r6dxjinzaiprogram.html>

DXを推進する社内体制を構築したい企業向け

DX推進を担う経営者、中核人材に向けた学習プログラムを受講いただけます。

- ・次年度以降のDX推進に向け、経営課題整理から具体的な解決策など取りまとめたDX推進プランの策定と実行を専門家が支援します。
- ・プログラム参加企業のニーズに基づき、ICTベンダー等への繋ぎこみをサポートします。

参考：令和6年度実施概要



利用企業の声

「専門家が伴走支援してくれたため、講義後もモチベーションが低下することなく、継続的にデジタル化に取り組みました。」

「講義の中での「うちは特殊な業界だからデジタル化しない」という考えが危険だという指摘にハッとしました。」

DX人材育成プログラム「Downstreamから学ぶDX」

宮城県 産業デジタル推進課
TEL: 022-211-2478



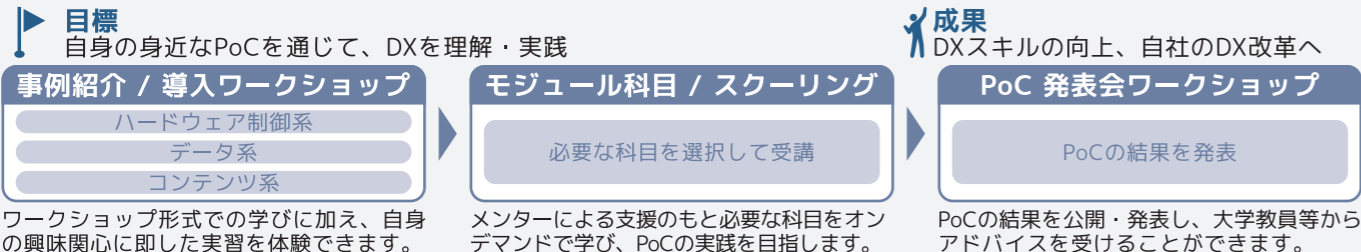
公式サイト https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sangyod/r6dx_speciality.html

DXに関する実践的な知識・技術を学びたい企業向け

DXの活用事例の中からユニークな取り組みを学び、身近にある課題に対して、デジタル技術を活用して自ら提案ができるスキルを身につけつつ、オンデマンド教材を受講したりメンタリングを受けながら、自身のPoC (Proof Of Concept: 概念実証) を提示することで、身のまわりの人々と共に問題解決にチャレンジできる状況をつくることを目標とします。

PoCとは? → 新しい概念や理論などが実現可能であることを示すための試行的提案

参考：令和6年度実施概要 ※実施主体：宮城大学



利用企業の声

「PoCを機に新しい試みにチャレンジでき、結果として業務効率化が図られ十分な成果が出た。」

「他の受講者のモチベーションの高さが伝わり、直接意見をもらえたことがとても良かった。」

地域高度デジタル人材育成研修

宮城県 産業デジタル推進課
TEL: 022-211-2479



公式サイト <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sangyod/itkensyuu.html>

デジタルによる生産性の向上、魅力的で成長力のあるデジタルビジネスを創出する力を身に付けたい企業向け
課外実習も含め実務に即した学習プログラムを実施します。

(参考) 令和6年度実施内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	内容
事業企画推進基礎	業務分析・コンサル編 3h×4回+課外実習		環境分析編 3h×4回+課外実習							企画系の業務に不可欠な基礎素養を学びます。
業務課題解決 (改善型DX)	DX推進支援研修 3h×6回+課外実習		DX推進支援研修 3h×6回+課外実習							生産性向上や業務効率化などの現状業務の改善を主眼としたDX推進の考え方とスキルを学びます。
事業企画 (変革型DX)	ビジネス変革人材育成 3h×12回+課外実習									DXの“X”を本来の“変革”の意味で捉えた際の“ビジネスモデル変革”について、事業内容の企画から事業化までのプロセスを体系的/実践的に学びます。

参加者の声

DXを考えるうえで自分たちの仕事の目的や本質をあらためて考え直し、棚卸ができたのが収穫でした。

DXについては大まかなイメージとして理解できた。ロジカルシンキングやクリティカルシンキングなど、DX以外でも使える考え方にについて理解が深まったことは一番大きかった。

課外実習を通して、DXに対する課題や取組内容の深掘り、ブラッシュアップには、DXの概念だけでなく自社業務に関する知見や業務で得た経験も重要であることを理解することができました。

マナビDXクエスト

修了者のインタビューは
公式HPにて公開しております



東北経済産業局
情報政策・半導体戦略室
TEL: 022-221-4895



公式サイト <https://dxq.manabi-dx.ipa.go.jp/>

DXの担い手として持つべきスキルを習得したい社会人・学生向け (デジタル初心者/経験者問わず参加できます)

企業におけるDX推進のプロセスの学習と志を同じくする幅広いデジタル人材とのつながりの構築に向けた

- ①企業データに基づく実践的なケーススタディ教育プログラム (PBL)
- ②地域の中小企業との協働による、デジタル技術を活用した課題解決型プログラムを実施します。

① ケーススタディ教育プログラム (PBL)

- ・DXで現場の課題を解決する一連のプロセスを一気通貫で学習
- ・企業の実課題・実データに基づくケーススタディ教材からDXを疑似体験 (AIによる需要予測やデータ分析による収益改善等)
- ・受講生が情報交換して学び合い・教え合いながら、実際の企業課題をテーマに課題解決を体験
- ・全プログラムがオンライン、個人で取り組めるため、都合の良い時間で受講可能



② 地域企業協働プログラム

実施内容	企業と連携し、企業のDX取組み状況に応じた約2ヶ月間のゴール設定、プロジェクト運営、成果報告を行う
学べること	実際の現場で経営陣・担当者らとDXを推進する実体験を通じて、PBLで学んだDX推進・変革を現場で推進する際の難しさやポイントの理解等、机上では得られない学びが可能

ハンズオン支援（専門家派遣）

中小機構 東北本部
企業支援課
TEL: 022-716-1751



公式サイト <https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/hands-on/>

経営課題の解決に取り組む中小企業・小規模事業者を対象に豊富な経験と実績を持つ**専門家**を一定期間**派遣**し、**アドバイス**を実施します。主体的に取り組んでいただくことで、支援終了後も**自立的・持続的に成長可能な仕組みづくり**をサポートします。

IT企画・導入支援（IT-A型）

専門家を10か月程度（20回程度）派遣し、IT活用・IT導入への具体的なアドバイスや企業内のIT人材の育成をサポート

IT化構想策定支援（IT-B型）

専門家を4か月程度（8回程度）派遣し、自社に最適なIT活用・IT導入に向けた構想・計画策定をサポート

費用

17,500円（専門家1人、1日あたり。消費税込）

派遣専門家

CIO経験者、中小企業診断士、ITコーディネーターなど中小企業のIT経営に関して十分な知見と実績がある専門家

支援内容（例）

- 企画・計画フェーズ** 経営戦略や方針の確認・立案、経営課題の整理、業務改善課題の抽出、IT化の方針・計画立案、システム化の構想
- 設計・開発フェーズ** 投資予算の検討、ベンダー・パッケージ選定、システムの設計・開発業務の仕組みの確立
- 運用・保守フェーズ** システム移行・稼働のフォローアップ、利用者への教育、活用定着フォロー、導入効果の検証、改善項目の抽出

申込方法等

詳しくは中小機構東北本部にお問い合わせください。
ヒアリングを実施した上で、他の最適な支援施策をご提案する場合がございます。

生産性向上ロールモデル創出支援事業

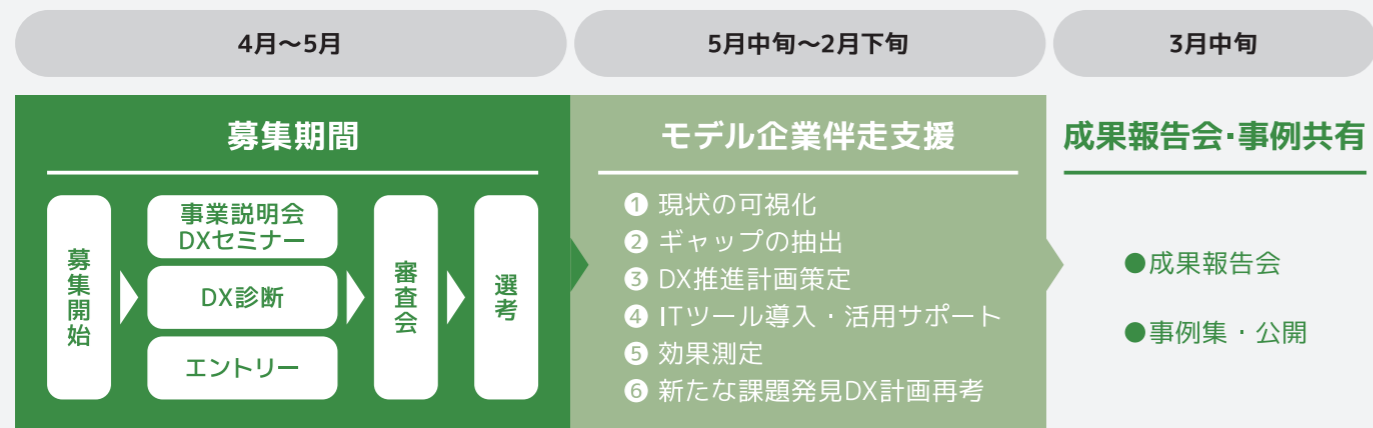
仙台市 中小企業支援課
TEL: 022-214-1003



公式サイト <https://www.city.sendai.jp/chiikikeizaisai/rolemodelsousyutsu.html>

- 市内の中小企業を対象に、デジタル技術を活用した業務改革や経営改善を支援する事業です。
- 専門コンサルタントが課題分析から目標設定、解決まで伴走支援を行い、生産性向上のモデル事例を創出して波及を目指します。
- 支援内容には現状診断、DX計画策定、ツール導入支援、効果測定が含まれ、IT活用による成長と競争力向上をサポートします。

（参考）令和6年度実施内容



異業種連携促進事業

宮城県 産業デジタル推進課
TEL: 022-211-2479

既存事業の高度化や新規事業創出を目指す方々の**学び・異業種の交流**を目的とした**各種イベント**を開催します。参加者同士が交流可能な**オンラインコミュニティ**を立ち上げ、継続的な交流を支援します。

（参考）令和6年度実施内容

異業種DX勉強会



業界の枠を超えた交流の場となる「異業種DX勉強会」を開催しました。講師からのアドバイスを交えつつ、参加者同士がDXに関する悩みを共有し合える場です。

女性とともに学ぶ Well-being×DX勉強会



「女性の働きやすさ」や「女性ニーズに応える製品・サービス」をテーマに、女性起業家をゲストに迎えて事例紹介やニーズの掘り下げについて勉強しました。現場の声、働く女性の意見を踏まえたDXについて考える場です。

地域企業×IT企業×学生のDXアイデアソン



企業や学生たちが様々なワークを通じて、商品やサービス、地域づくりプランや施策などのアイデアを創出します。

DX課題解決スタディツアー



参加者がDXをスタートアップする企業に集合。経営者の悩みを伺い、その場で課題解決の手法を探る実践参加型のスタディツアーです。

参加者の声

セミナーのワークで、デジタル化のための業務分解シートを書いて、不要な事務作業に気づいた。解消のキーワードをもとに業務改善につなげたい。（製造業/総合職）

DXの本来の定義や意義が理解できた。講師が実例を多く交えて話していただいたのでわかりやすかった。（サービス業/取締役）

開催の様子はnoteで公開しています。



SENDAI X-TECH Innovation Project

仙台市 産業振興課
TEL: 022-716-1751



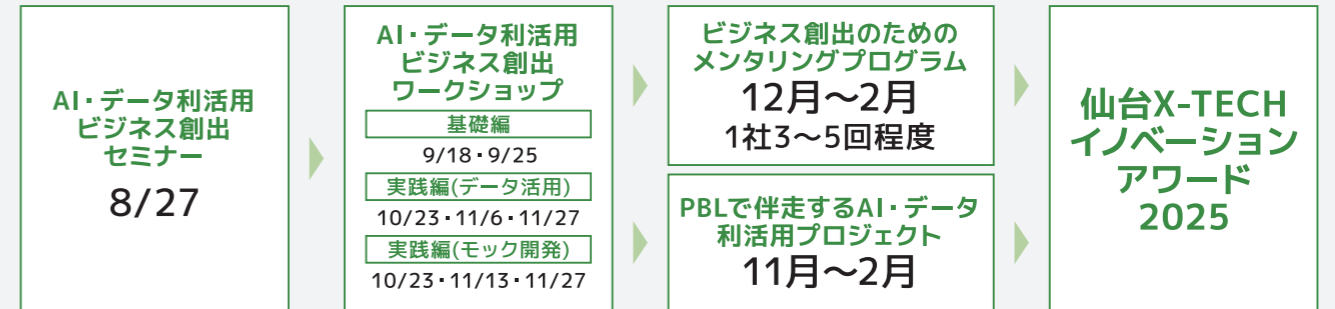
公式サイト <https://lifeisyourtime-sendai.com/>

高付加価値ビジネスの創出・変革を目指す地域企業の**経営者**や現場の**ビジネス担当者**を対象として、AI等の**先端IT技術**と様々な分野との**融合【X-TECH】**による**新事業創出**を目指すワークショップや伴走支援、関連資格の取得支援を実施します。

R7年度の情報は、仙台市HPより随時更新いたします。

SCHEDULE R6年度スケジュール

ビジネス創出プログラム



人材育成プログラム

G検定取得を目指す! AIビジネス人材育成プログラム	9/24-11/9
E資格取得を目指す! AIエンジニア育成プログラム	9/24-2/28
DS検定合格を目指すデータ利活用人材育成プログラム	1/16-3/15 等